

妊娠

出産

乳幼児期



### ネウボラって？

フィンランド語で「相談する場所」が日本語に近い意味。フィンランドでは、「ネウボラ」として、かかりつけの担当者や専門職が、妊娠期から就学期まで切れ目なくサポートしています。



【電話相談／仙北市保健課】《固定電話》☎ 55-1112 《携帯電話》☎ 080-2813-0835

## 全国で風しんの報告数が増加しています！

10月には、大仙保健所管内で1件の風しん患者発生が報告されました。

### 風しんとは

感染者の飛まつ（唾液のしぶき）などによって他の人にうつる感染症です。風邪によく似ており、感染すると発熱、発疹、リンパ節腫脹といった症状があり、多くの場合は数日で治ります。

### 特に注意が必要なのは、妊娠早期の妊婦さんの感染です

妊娠早期の妊婦さんが風しんにかかる、出生児が先天性風しん症候群（目や耳、心臓に障害がでること）になる可能性があるため、注意が必要です。妊婦さんへの風しん予防接種はできません。家族や職場の方の風しん予防が大切です。

### 「こ」で感染しやすいか

風しんは、咳・くしゃみで他人にうつるため、特に、学校、職場など人の集まる場所

場所で感染が拡大する恐れがあります。

### 風しん予防接種はお済みですか？

予防接種制度の変遷から男性が接種していない場合が多いので、妊娠を希望している女性の配偶者は特に母子手帳のご確認をお願いします。過去に学校を会場に集団接種で実施していた期間がありますが、その場合、母子手帳に記入されていません。

生まれた年月日	接種回数
昭和54年4月1日以前	女性のみ1回 ※男性は接種していません
昭和54年4月2日～ 平成2年4月1日	1回
平成2年4月2日以降	2回

### 風しん予防接種

1回も受けたことのない方や受けたかどうかわからない方は、主治医へご相談ください。予防接種する前に抗体価検査をおすすめします。抗体価が低い場合は、予防接種が必要です。



### 現在の定期予防接種／

1歳児と小学校就学前1年の時にMR（麻しん・風しん）予防接種として2回実施されています。

### 大人の風しん予防接種助成／

妊娠を希望している女性と現在妊娠中の女性の配偶者に接種費用の全額を助成しています。詳しくは、仙北市保健課にお問い合わせください。また、市ホームページ「心とからだの健康」ページの「大人の風しん予防接種助成事業」[http://www.city.semboku.akita.jp/citizens/16\\_02.html](http://www.city.semboku.akita.jp/citizens/16_02.html)をご覧ください。

※定期予防接種対象と助成対象に該当しない方は、任意予防接種として自己負担になります。